

## 目次

### I 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査方法
3. 調査の実施体制

### II 調査結果（質問紙調査）

#### 1. 施設情報

- (1) 障害者専用・優先スポーツ施設の定義
- (2) 障害者専用・優先スポーツ施設の設置状況

#### 2. 施設分類

3. 障害者専用・優先スポーツ施設の設置年と設置者
4. 障害者専用・優先スポーツ施設に付帯する施設
5. 障害者専用・優先スポーツ施設の管理運営状況
6. 障害者専用・優先スポーツ施設の利用状況

- (1) 総利用者数
- (2) 施設利用者の集計方法
- (3) 利用者の利用状況

#### 7. スポーツ指導者の配置状況

- (1) 有給または有償のスポーツ指導者数
- (2) 障害者スポーツ指導に関わる有資格者の内訳

#### 8. 障害者専用・優先スポーツ施設の実施事業

- (1) 障害者専用・優先スポーツ施設の実施事業
- (2) 障害者スポーツ教室
- (3) 障害者スポーツ大会・イベント
- (4) 巡回スポーツ教室（出張教室）の実施状況
- (5) 巡回スポーツ教室（出張教室）の実施場所

#### 9. 障害者専用・優先スポーツ施設を利用するサークル・クラブ・競技団体

10. 障害者専用・優先スポーツ施設の情報発信
11. 障害者専用・優先スポーツ施設における用具の保有貸出状況
12. 障害者専用・優先スポーツ施設の修繕・建て替え状況

### III 統計解析

1. 利用者数
2. 実施事業
3. 福祉サービス・地域活動
4. 有給／有償のスポーツ指導者と有資格者
5. 貸出用具の保有

### IV まとめと考察

### V 参考文献・付録

注)「しょうがい」の用語は、「障がい」「障害」「障碍」などがあるが、本報告書では、固有名詞以外は、法律上の「障害」を使用した。

## I. 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査は、わが国の障害者スポーツ専用施設、および優先施設（以下、「障害者専用・優先スポーツ施設」）の設置状況とその概要、利用者数等を明らかにし、障害者スポーツの普及、振興状況を把握するための基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2. 調査方法

#### 1) 文献調査

文献調査（インターネットによる情報収集を含む）により、障害者専用・優先スポーツ施設の要件を満たす施設候補をリストアップした。

#### 2) 質問紙調査

障害者専用・優先スポーツ施設の抽出、施設概要、運営状況等について、それぞれ質問紙調査を行った。

##### ①調査対象

全国の障害者スポーツ専用施設、または障害者が優先的に利用できるスポーツ施設 150 施設

##### ②調査項目

- ・施設の設置および管理状況
- ・施設の付帯設備設置状況
- ・施設の利用者（2018～2020 年度）の状況
- ・施設の指導者
- ・施設の実施事業
- ・施設の修繕／建て替え

##### ③調査期間

2021 年 11 月～12 月

##### ④調査方法

郵送法\*

(\*注) 対象施設が希望した場合は、調査票データをメールで送付し、回答済み調査票をメール添付で返送していただいた。

##### ⑤回収状況

・回収:110(回収率 73.3%)

### 3. 調査の実施体制

本調査は、以下の学識者と笹川スポーツ財団の共同研究により実施した。

日本福祉大学	スポーツ科学部	教授	藤田 紀昭
〃	〃	准教授	安藤 佳代子
〃	〃	准教授	兒玉 友
公益財団法人笹川スポーツ財団	〃	政策ディレクター	小淵 和也
〃	〃	シニア政策ディレクター	澁谷 茂樹